

## 経営概要

### 農事組合法人ジュイタックNEXT

#### ◆代表者・所在地

風間 勝 福島県喜多方市

#### ◆設立

令和4年9月

#### ◆経営規模

米集荷・販売（主食用約180 t、酒米約102 t）、  
ソバ作付1 ha、ソバ刈取作業受託約240ha

#### ◆従業員数

組合員 33名

#### ◆事業内容

地元酒造業者に対する酒米の出荷及び、ソバの刈取作業受託等に取り組む。



農事組合法人ジュイタックNEXTの設立総会の様子

## 1 現状と相談までの経緯

米の集荷・販売を行ってきた任意組織ジュイタックは、令和5年10月から始まる**消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応するため**、会計処理を見直す必要がでてきた。

このことに対応すべく法人化の話が持ち上がり、**地元の普及指導センターより農業経営・就農支援センター（旧：農業経営相談所）が紹介**された。

## 2 相談内容

法人化に際し、**消費税の適格請求書保存方式に適正に対応できる体制を整える**とともに、組合員がほとんど同じである任意組織のそば刈取作業受託組織、そば生産組織及びジュイタックの**3組織を整理統合するとともに、会計の明朗化**を図りたい。

## 3 支援内容

### ■支援チームによる支援計画の策定

法人設立に向け、経営診断の実施や任意組合の経営継承などの支援が必要であることから、**専門家による経営分析**を踏まえ経営戦略会議において法人設立に向けた**支援チームを編成し、支援計画等を策定**した。

### ■専門家派遣を通じた助言の実施

相談者が支援計画を実現できるよう、普及指導員が中心になり、専門家と調整を実施。経営の統合、法人化を図るため、**税理士等の専門家派遣を通じて、法人設立に向けた支援を実施**した。

#### ・法人形態の助言（県農業会議職員）

任意組織の統合に関する事項や株式会社、農事組合法人、一般社団法人等の相違点や特徴等に関する助言を行った。

#### ・法人形態・税務会計の助言（税理士）

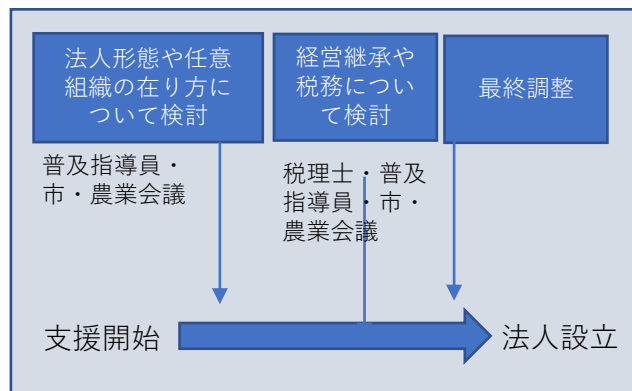
インボイス制度に関する事項のほか、従事分量配当や経営継承などの税務会計に関する助言を行った。

#### ・法人化等に関する助言（普及指導員）

任意組織の法人化等の事例を紹介するとともに、視察見学の調整を行った。

支援チーム構成員：

税理士、普及指導員、市職員、県農業会議職員



法人設立に向けた支援計画を策定

### ■ 支援を受けて・・・

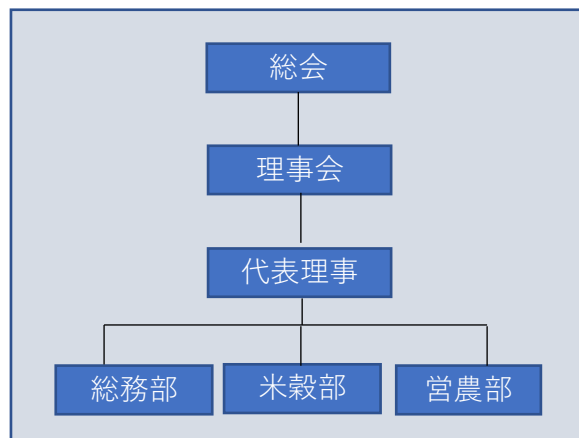
令和4年9月に農事組合法人ジュイタックNEXTを設立し、登録番号取得により、適格請求書等保存方式への対応が可能となった。

また、法人化に伴って**複数組織が統合したことにより、効率的かつ強固な基盤をもつ組織運営**が実現した。

### ■ 今後の経営展開

法人化により基盤が整備されたことから、**次世代の人材確保**を目指す。

また、会計や運営のルール整備を行ったことに伴い、**共同利益の増進や設備投資等**を目指したい。



設立法人の組織体制

### 喜びの声

センター相談員や税理士の指導により、法人化に向けた課題を整理して、農事組合法人として新たなスタートができました。

税制上の大きな改正であるインボイス制度の対応、今後の経営拡大に向けて農業経営改善計画の策定や資金調達の環境が整いました。

今後は財務状況を的確に判断しながら、適時の施設整備や事業拡充を行いながら地域に密着した農業の担い手として努力していきたいです。

### 専属スタッフ所感

組合員である認定農業者等の地域の担い手が、今後も継続的かつ安定的に農業経営を行うために自ら任意組織を統合、法人化しようとする取り組みは特徴的です。

今後は会計を始めとした法人経営の知識を組合員が身につけ、事務作業の分担と継承が課題になると思われるため、必要な時期に継続した支援を行っていきたいです。

## <支援機関> 福島県農業経営・就農支援センター



相談窓口外観（福島県自治会館）

### 組織概要

#### ■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：福島県福島市中町8番2号  
福島県自治会館1階

電話番号：024-521-8676

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）  
8：30～17：15

福島県及び3つの農業団体（JA福島中央会、（一社）福島県農業会議、（公財）福島県農業振興公社）の職員がワンフロアに常駐する農業経営・就農の総合相談窓口として設立しました。各市町村を始め農業関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。